

予 算 特 別 委 員 会

常井洋治委員(自民) 県住宅供給公

社の破産という結果について、将来への反省材料として、しっかりとした検証を行う必要がある。なぜこうなってしまったのか、どこに問題があったのか、どういう反省が述べられたのか、そして、議会はどうか対応してきたのかなどをまとめて、県政の歴史に記録として残り、未来の知事初め執行部にきちんと引き継いでいくことが大事だと思うが、知事の考えを伺う。

知事 委員指摘の事項などをきちんと引き継いでいくことは大変なことだと思ふ。それを行うに当たっては、県内の有識者に参画いただいた県出資団体等経営検討特別委員会での検証結果を踏まえ、また、県出資団体等調査特別委員会など議会での議論等を十分にまとめて、後に残していきたい。

(ほかに、医科大学の誘致なども質問)

本澤徹委員(自民) 循環型農業団地構想の第一段階として銚田西部工業団地予定地などに実験農場を設けた雪国まいたけ社が、将来百ヘクタールから最大千ヘクタール規模の野菜生産や数ヘクタール規模のきのこ・植物工場の建設などを進めると、地域経済の活性化や数千人規模の地元雇用、農産物の販路拡大などが期待され、楽しみだが、県内への工場進出は実現するのか。

理事兼政策審議監 同社の希望条件は水の大量使用などハードルの高いものが多く、一か所で全事業に必要な条件を満たすことは難しいが、希望に近い県内候補地を、市町村の提案も含めて示し、検討してもらっている。同社は構想の早期実現を希望しており、県としては可能な限りの提案を行い、本格的な進出の決定に

向けて全力で取り組んでいきたい。

(ほかに、本県農業教育拠点としての銚田農業高校の位置づけなども質問)

狩野岳也委員(自民) 高校生の制服の乱れが目立つが、きちんと制服を着る理由が分かっているのではないのか。普段の心構えが大事であり、改めて制服の意義を伺う。県立高校の教員は、生徒に整った服装をさせるためにどのように指導をしているのか。「校長が、学校が変われば子どもたちが変わる」のであり、道徳教育に力を入れるべきではないか。

教育長 制服には集団的な連帯感を高める機能があり、学校の一員としての自覚により責任を持った行動が求められることになる。改善には、校長のリーダーシップのもと「ダメなものダメ」という姿勢で指導し、本年度後期をマナーアップ強調期間として保護者や地域と連携して取り組むとともに、高校生の自律心をはぐくむ道徳教育の充実に努める。

(ほかに、雇用対策事業の効用、刺青なども質問)

佐々木忠男委員(民主) 消防法が改正され、傷病者の状況に応じた搬送及び受け入れ体制を構築するために、救急搬送・受け入れの実施基準の策定が義務づけられた。救急患者の円滑な搬送の実現には、この実施基準を救急医療情報システム*に取り入れるなど、システムの改善に向けた取り組みが必要であると考えているが、今後の方向性について伺う。

保健福祉部長 重傷度の高い症例については、消防機関にリアルタイムで医療機関の受け入れ可否に関する

情報を提供できるように、情報入力が簡易な端末の設置や、現場の救急隊による近隣病院への同時受け入れ照会が可能なシステムの構築などについて検討し、情報の即時性、正確性を高め、救急患者の迅速な搬送に資するシステムの構築を目指していく。

(ほかに、一括交付金の認識と望ましい姿、若者の雇用対策なども質問)

井手義弘委員(公明) 九月七日に公正取引委員会が土木部と農林水産部へ検査に入った。官製談合も疑われるとの一部報道もあるが、談合防止策所管の土木部長の見解は。また、発注を遅らせることはないか。

土木部長 公正取引委員会からはまだ何の発表もないが、検査に真摯に協力するよう指示するとともに、現在、検査の推移を見守っているところであり、状況に応じて談合防止対策を検証し対応してまいりたい。工事は地域要望に基づき行っているもので、今回の検査で工事が遅れることのないようにしたい。なお、入札契約制度は、手続きの透明性、工品質の確保、地域建設産業の育成の三つの観点から求められているので、これらの観点や今回の事案を踏まえ、入札制度の検証を行っていききたい。

(ほかに、新型インフルエンザ対策、多剤耐性菌対策なども質問)

大内久美子委員(共産) 県は県住宅供給公社を破産により解散することを決めたが、莫大な保有土地と借金をつくってしまった原因・問題・責任の所在を明らかにし、県住宅供給公社だけでなく、県開発公社や県土地開発公社も解散すべきではないか。

知事 県開発公社を解散させた場合、県は県開発公社の借入金について金融機関と締結している損失補償契約によって約一千億円の支払いが必要となり財政運営が厳しくなるほか、事業途中の工業団地造成の継続が困難になることから、現時点での解散は考えていない。また、県土地開発公社は、現在も東関東自動車道水戸線の茨城空港北IC(仮称)銚田IC区間について用地取得を受託予定であり、当面、解散は考えていない。

(ほかに、介護保険の見直し・改善、県立こども福祉医療センターの充実なども質問)

荻津和良委員(自民) 改正臓器移植法施行後、全国各地で、本人の意思が不明ながら家族の承諾による脳死での臓器提供事例が報告されている。自分の死後、残された家族が臓器提供について悩まないようにしておくことも必要。臓器移植に関する今後の県の取り組みを伺う。

保健福祉部長 臓器提供意思表示カードやインターネットによる登録に加え、健康保険証や運転免許証にも記載欄が設けられ、意思表示をしやすい環境が整ってきた。今後は意思表示の重要性について、(財)いばらき腎バンクが作成した啓発用DVDなども活用し、県民への広報活動に重点的に取り組む。また、臓器提供医療機関へは、県臓器移植コーディネーターの活動を充実させ、業務の円滑化を支援する。臓器提供に対応できる医療機関の増加にも取り組む。

(ほかに、茨城空港の今後の取り組み、

涸沼の水質浄化なども質問)

錦織孝一委員(自民) 茨城空港ターミナルビルの送迎デッキは、百里基地の建屋方向を見えないよう、特殊ガラスが設置されているが、茨城空港の売りは、自衛隊機が見られることと思う。安全保障上の問題はあろうが、少し離れたフェンスのところからは見えるわけであり、何とかならないものか。見たいという見学者の声を、国に再度強く伝え、交渉してもらいたいと思う。

企画部長 送迎デッキの特殊ガラスについて、見学者からの声は何回も耳にしているが、共用空港としてのやむを得ない措置であり、ご理解をいただきたい。これまでも、見学者の声を聞くたびに、いろいろな機会をとらえて百里基地に伝えてきているが、今回、委員から重ねて伺ったので、改めて基地に伝えていきたい。

(ほかに、北浦の水質浄化、鹿島地域における道路の整備なども質問)

● 質問者

常井 洋治(いばらき自民党)

本澤 徹(いばらき自民党)

狩野 岳也(いばらき自民党)

佐々木忠男(民主 党)

井手 義弘(公 明 党)

大内久美子(日本共産党)

荻津 和良(いばらき自民党)

錦織 孝一(いばらき自民党)

※【救急医療情報システム】…医療機関から救急医療情報を収集し、県民や消防機関に対し医療機関の受入可否に関する情報などを提供するシステム